

第1回中間報告書

2025年9月23日~2025年11月9日

秋学期第1週~第6週/Autumn Term, week1-week6

国際ロータリー第2710地区

2025-2026地区補助金奨学生

阿部 吉晟

1. 報告書提出日：2025年12月15日

2. 基本情報

氏名：阿部吉晟

派遣クラブ・カウンセラー：広島西ロータリークラブ 石山 成之 様

教育機関：London School of Economics and Political Science (LSE)

専攻分野：MSc Development Management (Applied Development Economics)

3. 学業面での成果

秋学期に受講する授業(4科目)とその概要に関して報告させていただきます。

【DV410】 Research Design and Dissertation International Development 2025/26

：国際開発における研究デザインおよび修士論文の書き方

- 修士論文のテーマ設定や構成、方法論について学んでいます。卒業生の執筆した修士論文を拝読する機会もあり、求められる水準の高さに奮起しています。1年という限られた時間ではありますが、学問だけでなく実務への示唆も与えられるような修士論文を執筆したいと考えております。

【DV443】 Development Management Consultancy Project 2025/26

：開発現場におけるコンサルタントプロジェクト

- 目下の開発政策に取り組む機関や企業と共同でプロジェクトを行っています。私はFairtrade Internationalとのプロジェクトに参画しました。Fairtrade Internationalは、原料を主な輸出品とする発展途上国が、不当な価格設定や過酷な労働環境に虐げられることなく、平等な取引ができるようにするための仕組み構築を目指しています。定量的な分析を実務に活かし貢献できる貴重な機会ということもあり、これから本格的に活動していくことが非常に楽しみです。6か月の期間中、4人のチームメイトやクライアントと協働して、意義のある成果が出せるように尽力します。

【DV469】 The Political Economy of Development 2025/26

：開発における政治経済

- 「なぜ一方の国は発展し、他方の国は発展しないのか」という開発学における最大の問題に対し、政治や経済、歴史、時には地理などの要素を網羅的に学びます。これまで積み重ねられてきた理論の限界や開発政策の成功/失敗について入念に議論することで、これからの研究および実務に対する示唆を得ています。学部での専攻とは最も異なる上に広範なテーマを扱うため学びは多い一方、開発政策の難しさに頭を悩ませております。

【DV490】Economic Development Policy I : Applied Policy Analysis for Macroeconomic Development

：開発経済政策1：マクロ開発経済学における応用的政策分析

- マクロ経済学、つまり国という大局的な視点から経済成長に関する理論を学びます。人口、資本投資、技術、知識など、様々な要素が吟味されてきた過程を追うと同時に、理論の限界、そして開発政策への応用可能性を議論します。家計や企業を主な研究単位とするミクロ経済学とは異なり抽象度の高い議論にはなりますが、政府や国際機関などの視点から開発政策を学ぶことができる機会でもあり、大きな意義を感じています。

【DV494】Foundations of Applied Econometrics for Economic Development 2025/26

：開発経済学における応用計量経済学の基礎

- この講義では計量経済学と呼ばれる学問を学びます。統計学や数学の理論をもとに、データを用いて理論および仮説の妥当性を検証します。同時に、StataやRというデータ分析ソフトの使い方を学ぶことで、過去の研究の再現および自身の研究への活用を目標としています。いくつもの学術論文を読み、なぜその検証方法を用いるのか、検証結果に対しどのような反論が考えられるのか、その反論に対しどう再反論するのかなど、研究デザインの緻密さを追体験することで、研究の面白さを体感しています。

4. 受入地区でのロータリークラブとの関わり、奉仕活動、カウンセラーとの交流

地区補助金のため受入クラブはございませんが、貴重な機会を活かすべく、ロータリアンの方との交流機会を模索しております。また、カウンセラーの石山様には渡航前から非常にご厚意いただいております。この場をお借りして感謝申し上げます。

5. 直面した課題・問題等

特にございません。心身ともに健康で充実した日々を過ごしております。

6. 今後の課題・目標

第 6 週終了時点(2025/11/09)では、第 7 週以降に控えるプレゼンテーション(3 本)を高い完成度で仕上げることを目標に掲げておりました。第 2 回中間報告にて詳細を報告させていただければと思います。

7. その他特記事項

第 1 回中間報告書では秋学期の前半について報告させていただきました。執筆時現在(2025/12/14)からの振り返りにはなりますが、新しい環境・学問分野に試行錯誤する 6 週間でした。コースメイトや寮の友人にも非常に恵まれたおかげで、大きな苦難に直面することなく、充実した日々を過ごしております。第 7 週以降の学びにさらに精を入れてまいります。



◁ロンドン到着 2 時間後にオリエンテーションに参加。時差もあるためハードなスケジュールでしたが、フライトの疲れよりも 1 年間ここで学ぶことができるという高揚感が勝りました。

▷夜のロンドンを彩るビッグベンとロンドンアイ。煌びやかな夜景に見とれます。曇り空なのもロンドンらしいです。



◁コースメイトと火鍋を食べに。「全然辛くないから大丈夫だよ」と言われていましたが、辛かったです。

▷“Discover International Organisations Day” (DIOD: 『国際機関を知る』)という国際機関によるキャリアセミナーがありました。世界銀行、アジア開発銀行、経済開発協力機構などの機関が参加。自身のキャリアについて考える貴重な機会となりました。

